株式会社岸本組

所在地 美唄市字光珠内652番地17

事業内容 建設業

従業員数 43人

（令和6年7月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

従業員の平均年齢も上がってきており、定期健康診断で要受診者やメタボリックシンドロームに該当するものが増えてきたため、会社として従業員の健康維持・増進に取り組むために健康経営優良法人を目指しました。

ヘルスアップチャレンジを経て2018年より健康経営優良法人の認定を頂いておりますが、定期健診後の要治療・再検査の受診率や特定保健指導の受診率が上がり、従業員の健康に対する意識も変わってきているのではないかと思います。

当社の経営方針の一つでもある『Humanity　働きやすい環境を作ります』をさらに推進できるよう、これからも積極的に健康経営に取り組んでいきたいと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

30歳以上の従業員が人間ドックを受検した場合、費用の一部を補助しています。

ヘルスアップチャレンジ助成金で血圧計を購入。継続して測定することで自身の健康状態を把握でき、生活習慣の改善に役立っています。

毎年どけんぽの保健師さんと管理栄養士さんによる健康相談を実施。令和4年より健康相談時にカゴメのベジチェックも行っていただき、野菜不足を認識した者がお昼にコンビニでサラダを一品追加したり、菓子パンをサンドイッチに変えたりして、従業員の健康に対する意識も変わってきています。

『みんなで歩活』に会社として参加し、役員や普段本社にいない従業員と競い合っています。メンバーの歩数が一目瞭然なので普段より多めに歩いたり、昼休みに会社の周りを歩いたり、休みの日にウォーキングに出かける者もいて良い運動になっています。

従業員の運動不足解消のため、毎日午後3時にタイマー予約をしたUSEN放送にてラジオ体操を実施。パソコンでの作業が多いため、肩や腰のコリがほぐれてリフレッシュに一役買っています。

社屋の出入り口には消毒液を配置。トイレには便座クリーナと消毒液・ペーパータオルを配置し、感染予防に努めています。

子の入学・卒業、授業参観、配偶者誕生日休暇等のアニバーサリー休暇の導入により、家族との時間を積極的にとることが出来るよう配慮しています。

現場事務所でどけんぽによる健康相談を実施

地域貢献と運動を兼ね美唄クリーン作戦に参加

ホームページ https://www.kishimoto-group.com/category/news/ヘルスアップチャレンジ健康事業所宣言/

道路工業株式会社

所在地 札幌市中央区南8条西15丁目2番1号

従業員数 180人

（令和３年８月末現在）

事業内容 建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

日常を快適に過ごすには、健康が第一です。従業員の健康意識を高めるには、従業員とその家族の安全と健康を維持し、働きやすく快適な職場をつくることが会社の責務と考え、健康経営に取り組んでいます。

会社施設内の禁煙や、働き方改革の一環として積極的な有給休暇の取得を促進し、リフレッシュできるような職場環境づくりにも力を入れています。

健康管理がより身近なものになるよう今後もより良い環境を整え、継続的な健康経営に取り組んでいきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

定期健診は、受診費用や腫瘍マーカー等一部オプションを会社にて負担し、対象者全員が受診できる制度を設けています。全従業員の定期健診を行うことはもちろんですが、再検査・精密検査を促進し、さまざまな病気の早期発見・早期治療や、病気そのものを予防することに取り組み、生活改善につながるよう再受診率100%を目指しています。その結果、従業員の健康管理に対する意識が変わっているように見受けられます。

また、全社員を集めて行う社内研修において健康に関する講師を招いての講話を実施し、毎年1年間の安全を祈願する安全祈願時にコミュニケーションの一環として、ゲーム大会やBBQをすることにより、風通しの良い職場づくりを行っています。

現在、各事業所に非接触型体温計や手指の消毒液を入口に設置して、コロナ感染症対策を行っています。

社内研修　健康に関する講師を招き講話を実施

各事業所に非接触型体温計を設置

刈屋建設株式会社

所在地 岩手県宮古市刈屋11-80-3

従業員数 43人
（令和６年６月末現在）

事業内容 土木工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社では健康づくり担当者を設置してから数年が経ちました。活動に慣れて少し余力も出てきたので、土健保のヘルスアップチャレンジや健康経営優良法人への申請を検討し始めました。その結果、「健康経営」と特に意識はしていなくても、普段の取り組みが健康経営の項目に該当していることがわかりました。そこで健康経営優良法人のチェック項目に当てはめて今までの活動を整理し、課題を補うことで、さらに社員がいきいきと働ける環境を作れるのではないかと考えました。

建設業の現場では「安全」が最重要視されますが、「社員の健康は作業の安全につながる」と考えています。弊社は「女性活躍推進」にも力を入れており、現場の衛生管理も活躍の場の1つとしていて、女性社員による衛生パトロールを実施しています。この活動と連携しながら、これからも健康に関する取り組みや成果を「見える化」し、社員の健康意識の向上につなげていきたいです。

特に力を入れた取り組みとその効果

以前、弊社の現場事務所でインフルエンザが蔓延し、事務所を訪問した他社の方まで感染する事態となったことがあり、感染対策の必要性を痛感しました。そこで、本社と現場事務所に「次亜塩素酸空間除菌脱臭機」を設置すると共に、女性社員による各現場事務所の衛生パトロールでは、アルコール消毒液・除菌シートの補充や、感染する隙が無いかの点検及び助言に力を入れています。

また、弊社には野球チームがあり、毎年「宮古市長杯ナイター野球交流大会」に参加しています。運動機会が増えるだけでなく、社員同士のコミュニケーションを促進する良い機会となっています。さらに会社で大会の参加費用を補助することで、社員が参加しやすい環境を整えています。令和6年度からはモルック同好会も始動しました。こちらの活動にはヘルスアップチャレンジ助成金を活用する予定です。大会出場を目指して月1回のペースで練習をしています。性別や年齢に関係なく、楽しんで練習をしています。

女性社員作成の掲示物

モルック同好会、始動！

株式会社佐々木組

所在地 岩手県一関市山目字中野140―5

従業員数 124人
（令和6年7月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は、多年にわたり、土健保の保健師さんより毎年保健指導を頂き、健康の大切さを経営者はじめ従業員も実感し、会社独自の健康づくりを実践してきました。

毎年の健康管理を通して、一人一人の従業員を大切にする弊社の企業理念は、従業員の健康を経営的視点から考え、戦略的に実施する「健康経営」と価値観を共有でき、健康経営を実践することで、より継続的な会社経営活動の活力と成長につながると考え、取り組むこととしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

年に1度の生活習慣病健診は大変重要で、疾病を発見することで、早期に治療するきっかけとなり、生涯において大きな影響を及ぼすことがあります。弊社では所見があった従業員にできるだけ対面で声掛けをして、医療機関への受診を促すことを丁寧に行ってきました。後日、感謝の言葉を頂くと励みにもなります。

また、メンタルヘルス対策として、予防から職場復帰後まで、きめ細やかな対応に努めています。男女2名の担当者による相談窓口を設け、職位・職種の垣根なく相談できる体制を作りました。相談担当者を1人に固定しないことで「相談しやすい」と社員からも好評です。休職者へは、病院の情報提供や休職中の状況確認を行うだけでなく、復職後もこまめに声掛けをしています。そのせいか、復職後も元気に働いてくれていると感じています。今後は、産業医からのメンタルヘルスについてのアドバイスを継続し、担当者も相談対応等をより一層レベルアップさせ、社員がもっと元気で長く働いてくれるよう支援したいと考えています。

さらに、感染症対策として毎年、産業医によるインフルエンザ予防接種を実施し、感染拡大の抑制に効果を上げております。

担当者間で創意工夫し健康管理を推進（密）

職場内での感染症対策

林興業株式会社

所在地 福島県いわき市植田町根小屋65番地の1

従業員数 28人

（令和４年６月末現在）

事業内容 建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社が健康経営の必要を感じたきっかけは、社員の高齢化です。貴重な人材を守るためには、一人ひとりの健康意識を高めることが重要であると感じ、経営的視点からも健康づくりを推進している健康経営の考え方と一致しました。経営者と従業員が共に健康づくりに取り組むことは、会社全体の健康知識が高まるだけでなく、コミュニケーションも生まれ、心身の充実や働く意欲に影響し、働きやすい環境づくりにもつながります。社会の状況は刻々と変化しており、労務・健康管理者も頭を抱える場面が多くありますが、健康経営の知識を拠り所としながら、今後の方向性や問題点について考えることが出来ています。建設業界全体が抱えている慢性的な人手不足を乗り越え、未来につなげるためにも、健康経営の考え方を上手に取り入れた健康づくり活動を続けて行きたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病予防のため、定期健診時には、より検査項目の多い人間ドックを受診するよう促し、会社が費用補助を行っています。また、保健・栄養の啓発ポスターや声掛けなど、日々の健康指導を積極的に行ってきたことにより、特定保健指導の対象者はここ数年で減少しました。就業時間内に保健指導が受けられるようにするなど、健康づくりに配慮した職場環境の整備も、課題として取り組んでいます。

感染症対策として、ワクチン接種のため就業時間内に医療機関を受診することを可能としているほか、接種後の休暇制度を設けるなどして接種を促しています。また、検温・消毒・パーテーションを設置して感染拡大防止に努め、マスクの着用や行動制限についての情報は、随時、内容を従業員に分かりやすく伝えるようにしています。

ポスター等の掲示を随時行っています。

検温・消毒等を徹底しています。

株式会社復建技術コンサルタント

所在地 宮城県仙台市青葉区錦町一丁目７番25号

従業員数 420人

（令和３年４月末現在）

事業内容 建設コンサルタント

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社社長の菅原が就任した際、経営の柱として掲げた三つの方針のうちの一つが「健康経営」でした。何事も体が資本であり、社員にはまず心身ともに健康であって欲しいという思いが込められています。

そして、健康経営優良法人認定に挑戦したのは、その方針実現への取り組みを対外的にも認められるものにしようと考えたからです。

健康経営への取り組みは、特に若い方からの企業イメージアップにつながるのは勿論、社員に対するメッセージでもあります。弊社のような建設コンサルタントは人がすべて。社員の技術力と経験が資産かつ商品だからこそ、健康に留意して欲しい。その思いを発信することが大事だと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

弊社では、定期健康診断でメタボ判定となった社員全員に特定保健指導を受けさせています。これをきっかけに食生活の見直しや自転車通勤に切り替える社員もおり、徐々にではありますが意識が変わってきたようです。また、土健保さんと「ベジチェック」を実施し、社員の野菜摂取不足の自覚を促しました。禁煙対策では、従来から分煙や喫煙時間を設けるなど受動喫煙対策を行っておりましたが、2018年からは禁煙外来治療費補助金制度を導入し、2021年に漸く第1号の申請がありました。今後もっと申請者が増えるようPRしています。感染症対策では、土健保さんの協力の下、『手洗いチェッカー』で感染予防の基本である手洗いがきちんと出来ているか確認しました。参加者からは「念入りに洗ったはずなのに意外に汚れている」と驚きの声。改めて手洗いの難しさ・大切さを学びました。長時間労働対策、ワークライフバランス推進では、WLB推進委員会を設置し、研修、工程管理方法の見直し、業務効率化検討、コミュニケーションの活性化などに取り組んでおり、定期的な報告会で好事例を水平展開しております。

手洗いチェック。結構汚れ残ってます。

ベジチェック中。野菜摂れていますか？

ホームページ https://www.fgc.jp/csr/employee/index.html

山形建設株式会社

所在地 山形県山形市清住町1丁目2番18号

従業員数 145人
（令和４年４月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は、山形県を中心に総合建設業として建築工事、土木工事、舗装工事を営んでおります。これまでも社員の健康管理はもちろんのこと、当社の現場で働くパートナー企業の作業員の健康管理についても積極的に取り組んで参りました。

健康経営に取り組むきっかけは、全国土木建築国民健康保険組合様より健康経営に関する情報提供を頂き、その趣旨に賛同して社員の健康管理を推進することにより、生産性の向上を目指していきたいとの思いからでした。

特に力を入れた取り組みとその効果

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の罹患者の発生は業務への影響が大きいため、現場や事務所を点検し、非接触型体温計や空気清浄機の設置など、感染拡大防止設備の充実を図っています。加えて、消毒液やペーパータオルの使用、定期的な換気の励行など職場環境を改善し、予防対策を徹底して体調の維持にも努めています。この数年、社内のインフルエンザ罹患者はゼロです。

従業員がいつでも自身で健康状態が確認できるよう、社内に血圧計と体重計を設置しています。毎日血圧測定を行う社員が少しずつ増えていて、健康意識向上に役立っています。今後も健康管理アプリ導入や健康イベント開催を予定しており、社員の健康増進に積極的に取り組んでいきます。

次亜塩素除菌脱臭機能付空気清浄機の設置

血圧計・体重計の設置

味の素エンジニアリング株式会社

所在地 東京都大田区蒲田5-13-23　TOKYU REIT蒲田ビル2階

従業員数 187 人

（令和５年４月末現在）

事業内容 食品工場建設・改修

健康経営に取り組むようになったきっかけ

少子高齢化による生産年齢人口の減少により、労働力不足が顕在化しており、有能な人材確保のための競争が激しくなっている。

労働力確保のために従業員の雇用延長等を積極的に図らなければならない状況下であるが、高年齢になるにつれ、様々な疾患に罹患するリスクも高くなり、従業員の健康状態の悪化は企業の生産性を低下させることにつながる。更に、求職者からは、魅力のない企業と映り、人材の定着率の悪化等、有能な人材の確保にも悪影響を及ぼす可能性がある。

増加し続ける国民医療費は、健康保険組合等の財政悪化を招き、結果として健康保険料の上昇という形で企業負担の増加につながっている。このような企業負担の増加や生産性の低下を防ぐためには、健康保険組合や従業員に、個人やその家族の健康保持・増進の取り組みを委ねるだけでなく、企業が従業員等の健康保持・増進に主体的かつ積極的に関与する必要が生じていると感じた。

また、味の素㈱が健康経営優良法人（大規模法人部門）～ホワイト500～に認定されていることに伴い、味の素グループとして健康経営に取り組むこととなった。

特に力を入れた取り組みとその効果

通年の健康診断後に社員全員が保健師または産業医と面談を行うようにしている。面談を行うことで健康診断結果の確認だけではなく、常に自身の健康状態を把握し、日常でも健康に留意して生活できるような意識付けを行っている。あわせて高残業者には疲労度アンケートを行い、業務の負荷状況・職場環境・健康診断結果を合わせ、総合的かつ継続的な健康管理を実施している。これにより安心して業務ができる環境を作ることができていると感じている。

2020年以降、新型コロナウイルスの影響で様々な生活様式の変化がある中で、テレワークを導入し通勤時間での感染リスクを削減することに積極的に取り組むとともに、出社時も安心できる職場環境作りを行う（パーティションやアルコール消毒液の設置他）など、コロナウイルス対策に力を入れてきた。結果として、職場内クラスター発生を防止し、重篤化した従業員も無く、ここまで乗り越える事ができた。また、これを機に、更に社内におけるテレワーク可能な働き方改革も加速し、ワークライフバランスの向上につなげることができた。

希望により、
面談をする準備
を整えています。

空気清浄機・
二酸化炭素濃度計
の設置

カジマ・リノベイト株式会社

所在地 東京都新宿区住吉町1番20号

従業員数 75人

（令和3年7月末現在）

事業内容 総合工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

もともと「会社の成長や生産性向上は社員の健康から」という組織としての考えがあって、そこに土健保の健康支援室担当者様の勧めが契機となって取り組みました。従業員の生活を健やかなものにするためには、会社が健康であることが必須であり、その為にも、従業員が心身ともに気持ちよく働ける環境を整える事で生産性の向上を図り、良いスパイラルを生み出していきたいと考えます。

現在は、会社のホームページでも社員が心身ともに元気に働ける事業所を目指して、健康づくりに取り組むことを宣言し、社内外にアピールしています。

特に力を入れた取り組みとその効果

本社では毎朝全てのドアノブを消毒しています。各フロア出入口前には、非接触自動検温・アルコール消毒器を設置し、執務室内には人の動きに沿った各要所に非接触自動アルコール消毒器を設置し社内外全ての人が手指の消毒に協力しています。また、応接室や会議室等の個室には加湿器付き空気清浄機や、加湿器付きサーキュレーターを設置し窓のない部屋にも配慮しています。また、各現場事務所でも同等の衛生管理を行っています。（感染症対策）

時間単位の年休取得制度を採用し、社員が通院しやすい環境づくりを努めております。（治療と職業生活の両立）

非接触自動検温・アルコール消毒器を設置

各執務室内に加湿器付きサーキュレーターを設置

株式会社クリエイトセンター

所在地 新潟県新潟市中央区川岸町２丁目８番地１

従業員数 39人

（令和６年７月末現在）

事業内容 建設コンサルタント業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設コンサルタント業を営む我が社は健康に不安を感じ始める40～50代の割合が多くなっています。若手社員も含めて社員一人一人が心身共に健康で長く働けることが会社の健康経営につながると考え、健康意識を高めるために、ヘルスアップチャレンジに参加することにしました。また保険組合から「健康経営優良法人」制度について助言をいただき、認定を受けました。

これをきっかけに会社と社員が一体となって、継続的な取り組みを毎年増やしていこうと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

・受動喫煙防止対策として社内にあった喫煙室をなくし、リモートルームに改装しました。また、喫煙所は屋外の指定場所に移動したことで、喫煙室前を通ると気になっていたタバコのニオイや壁の汚れが解消されてクリーンな環境が整いました。

・健康診断受診率は毎年100%を達成しています。当社では30歳以上の社員は人間ドックを受診可能とし、費用は会社が全額負担しています。人間ドック受診日は特別休暇を付与しています。また、健康診断受診後に再検査や治療が必要な社員には担当者が受診を促します。

・インフルエンザ予防接種費用は保険組合の補助額との差額を会社が負担し、感染症予防に努めています。

・毎日朝礼時と昼休憩後にラジオ体操を行っています。朝は体をシャキッと目覚めさせ、昼はデスクワークで凝り固まった体をほぐし、眠気予防にもなります。ボタン一つでラジオ体操の音楽が流れるブタの人形を使用して楽しい運動習慣にしています。

喫煙室をリモートルームに改装

ラジオ体操の音楽を流す電池式のブタの人形

ホームページ https://www.ngk-center.co.jp/

一般財団法人土木建築厚生会

所在地 東京都中野区中野２－12－11 フランボワーズガーデン中野２階　**従業員数** ７人

事業内容 土木建築業に従事する方々の福利厚生事業

（令和６年７月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当会は、会員（土木建築業に従事する者及びその家族等）の健康の維持・福祉の向上を目的としている一般財団法人です。

健康経営は、当会の事業目的にもマッチしていて、かねてより役職員の健康管理・健康増進を進めてきましたが、本格的に取り組むきっかけになったのは、職員の高齢化と「健康経営優良法人2017」認定制度が開始されたことによるものです。

高齢化は、健康リスクも高まりますので、職員の健康意識を高めることで、自主的に生活習慣や食生活等、健康管理に取り組んでもらえるよう健康づくりを推進しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

①ヘルスアップチャレンジ助成金を活用し体組成計を購入したことをきっかけに、健康管理日を設け、各自が体重、血圧、体脂肪率などの測定を実施することとなり、職員の健康意識の向上及び保持増進に役立っています。

②午後３時にはラジオ体操を行い日々の健康管理にも留意しています。

③オプション検査費用、疾病予防に寄与するワクチン接種費用の一部を補助することとしたため、ほぼ全員の職員がこれを利用しており、より一層の健康の保持増進と疾病予防につながっています。

④感染症対策として、デスク間のパーティション及び手指消毒装置の設置をするなど引き続き感染症対策に努めています。

机にはパーテーションを設置しています

月一度各自測定し、実施日を登録しています

ホームページ http://www.dobokukenchiku-kouseikai.or.jp/others/torikumi.html

ファインロードコンサルタント株式会社

所在地 新潟県新潟市西蒲区大潟2031番地

従業員数 15人

事業内容 建設コンサルタント業、測量業

（令和５年６月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

舗装構造診断、路面調査、測量、各種土質試験、アスファルト試験を営む弊社は、従業員の平均年齢が50歳近いことに加え、主要業務が室内試験及び現場作業という体を動かす仕事がメインとなっており、心身の健康を維持することが業務を遂行していくうえで最も大切なことだと思っています。これらのことがきっかけとなり、心身の健康維持を継続するという目的で、健康経営に積極的に取り組むようにしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病対策と健康維持のために、定期健康診断を充実させ、人間ドック、がん検診、婦人科検診の推進を行い、費用補助、特別休暇付与を実施しました。さらに検診で異常が見られた方は再受診を推奨するなど、積極的に恒常的な健康維持の確保に努めました。

また、禁煙日（スワン（吸わん）デー）を設定し、受動喫煙ゼロを目指す雰囲気作りに努めると同時に、適度な運動を行うということを目的に従業員参加型のウォーキングイベントを開催し、健康維持の意識付けを行いました。

さらに、従業員の健康意識を高めるために外部より管理栄養士を招き、従業員の食事のとり方などについて受講させています。

一方、コロナ及びインフルエンザ等のウィルス感染予防対策としては、従業員の毎朝の検温・記録を実施し、手洗いの励行、消毒液の設置などを細かく指導しています。

感染症予防対策　受付に消毒液を設置

組合管理栄養士による講義風景

丸善土木株式会社

所在地 長野県松本市南原二丁目20番4号

従業員数 18人

（令和５年７月末現在）

事業内容 土木・舗装工事

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営への取り組みを強化することになったきっかけは、従業員の有所見率の高さでした。疾病の改善や健康保持について、全国土木建築国民健康保険組合の東京健康支援室に相談させていただき、健診内容やオプションをどうグレードアップさせていくか等を議論してきました。その中で健康経営としての取り組みや健康経営優良法人認定制度についても情報提供があり、働きがいのある職場づくりと職場だけではなく家族の健康にも力を入れるため毎年様々な提案をいただきながら、可能な限り実践しております。また、2021年度から重点課題として取り組んでいる『こころの健康づくり』ですがストレスチェックの実施だけではなく、2023年度は睡眠モニター機能付きスマートウォッチを配布し、睡眠を数値として可視化する取組を進めています。「からだ」と「こころ」の両方の健康を保持できるように最新の情報等を取り入れ活動していきたいと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

①定期健康診断受診率100%の徹底に加え、30歳以上の従業員は人間ドックに変更した。（各種補助制度の説明を行い「女性特有の健診等」オプション追加も可能）
②食生活の改善として2022年度に塩分計を全社員に配布
③運動の推進として2020年度にバランスボールを全社員に配布、kencomで年2回開催されている「歩活」への参加
④感染症対策として2021年度には「マスク・アルコール消毒液」の配布や各工事現場へのアルコール消毒液の設置を行った。
⑤こころの健康づくりの活動として2021年度からストレスチェックの実施を行っている。
※2023年度はヘルスアップチャレンジ助成金を活用し、睡眠モニター機能付きスマートウォッチを購入・全社員に配布
⑥社内インターネットを利用し、どけんぽ保健師・管理栄養士作成の動画配信や東京健康支援室発行の「けんこう通信」の配信
⑦禁煙対策として屋外喫煙所の設置

スマートウォッチを配布し、睡眠とこころの健康づくりに役立てます

厚労省「こころの耳」サイトを利用して睡眠の大切さを学ぶ

ホームページ https://www.maruzendoboku.co.jp/pages/38/

株式会社オクミカワ

所在地 愛知県北設楽郡設楽町清崎字水口５番地２

従業員数 13人

（令和３年４月末現在）

事業内容 建設業（舗装工事業）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

過疎化の進む地域で、従業員の高齢化が進み、人材不足の状況です。健康経営に取り組むことで従業員の士気が上がり、生産性が向上し、離職率が下がり、求人活動で有利になる　を期待しておりますが、当社のモットーである【1,明るく；家族も従業員も健康で、明るく、仲良く。2,まじめに；うそをつかない、真心があり、誠実で地域社会に貢献する。3,一生懸命；全力をあげて会社の発展・継続に力を尽くす。】

家族・地域社会・会社のために働くには、まずは『健康が第一』名古屋健康支援室のヘルスアップチャレンジに参加して、指導を頂きながら取り組みました。

特に力を入れた取り組みとその効果

1, 生活習慣病対策と女性の健康保持増進については定期健康診断の充実で、人間ドック、がん検診、婦人科検診の推奨を行い、費用補助及び特別休暇付与を実施しました。今まで基本の健診しか受けなかった従業員が人間ドックを受診するようになり、またがん検診のオプションも自主的に受けるようになりました。（健康意識向上）

2, 感染症対策は従業員の毎朝の検温の実施、マスク・消毒液の配布を行い、予防接種の費用補助、接種時間の出勤認定を実施しました。ここ数年、家族を含めインフルエンザ感染者はいません、もちろん新型コロナウイルスの感染者もいませんが、引き続き会社としての感染対策を実施して新型コロナウイルスに打ち勝ちます。

毎日の朝礼時のラジオ体操

感染症予防対策

ホームページ https://www.okumikawaweb.com

協和道路株式会社

所在地 石川県白山市平松町263番地1

従業員数 72人

（令和6年7月末現在）

事業内容 舗装工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

どの建設業者様も同じ状況だと思いますが、社員の高齢化や採用活動が年々難しくなり人手不足が喫緊の課題となっています。当社に於いても社員の高齢化が見られるようになりました。まずは会社として社員が健康で長く勤務できる環境を整えられないかを考えたことが健康経営に取り組むようになったきっかけです。

これまで会社を支え社業の発展に努めていただいた先輩社員の方々、これから会社を盛り上げてくださる中堅・若年社員の方々、どの世代にも共通した必要な取り組みが健康経営だと考えます。健康経営に取り組むことで会社の持続的な成長・発展が可能となり、人手不足解消に寄与すると考えます。また、全社を挙げて健康経営に関与し続けることが全てのステークホルダーに感謝、必要とされる会社となりえるものと思います。

社内制度の拡充、商工会議所様からの助言や自治体・全国土木建築国民健康保険組合様の制度の活用を行いながら健康づくりに関する整備を始めました。

特に力を入れた取り組みとその効果

【生活習慣病対策】

40歳以上の従業員に対し、年に1回の人間ドック受診の奨励、5年に1回の脳ドック・PETの奨励を行いました。受診に係る費用は社内規定を設けその範囲内で会社補助とし、中高年層への健康リスクの早期発見・健康意識の増大を目的としました。結果として40歳以上の従業員全員が人間ドック・脳ドック・PETを受診し従業員の実費負担もほぼ0でした。また、希望する従業員に対しては会社補助の範囲内で子宮頸がん検査やアレルギー検査などのオプション検査も人間ドックと同タイミングで実施し、従業員の健康意識の増大にも寄与しました。

【感染症対策】

会社に医師を招聘しインフルエンザ集団予防接種会を開催しました。例年約30名の従業員が希望し接種会に参加し、会社内で接種できることもあり好評です。その他、除菌液の設置や非接触型体温計の設置、従業員通用口に手洗い場を設置しました。

【ワークライフバランス】

完全週休2日制としました。平日・休日のon・offをしっかりとつけることで健康面・体調面の管理をしてもらうことと、地域の社会活動参加、自己研鑽等自己実現の時間に使ってもらえればと考えています。

従業員が健康で長く勤務できる環境整備ができるよう会社として引き続き取り組んで参ります。

社員交流の一つ　新入社員歓迎会の模様

インフルエンザ集団予防接種会

ホームページ https://www.kyowa-road.co.jp/news/178

朝日建物管理株式会社

所在地 大阪市北区中之島2-3-18　中之島フェスティバルタワー

従業員数 1167 人
（令和４年７月末現在）

事業内容 ビルメンテナンス

健康経営に取り組むようになったきっかけ

ビルメンテナンス業界は当社も含め、多くの高齢の方に現役で頑張っていただいて成り立つ業界です。これまでも老若男女問わず従業員の方が元気に笑顔で働ける職場を目指してきましたが、全国土木建築国民健康保険組合が開示している「健康度ランキング」で2017年度4位、19年度1位の評価をいただきました。従業員自身の健康に関する意識が高いことが分かり、会社としても何とかバックアップしたい、労災や通災、病気による休職を減らす力になりたい――というのが本格的に健康経営に取り組むきっかけになりました。ストレスチェックや、健康診断の受診率をあげ、疾患のある人は放置せずに積極的に治療にあたってもらえるよう、厳しい指導もしますが、人間ドックの自己負担分を会社が補助する制度を作るなど優しい制度も作りました。

大阪健康支援室のご担当者様から弊社用に作成された「健康経営度調査用集計データ」を確認することで、会社で実施している健康への取り組みを振り返りながら、これからも従業員がいきいきと元気に働き続けられるように、健康づくりを積極的に支援し、継続的な「健康経営」を進めていきたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

どうしても直近はコロナ感染対策が中心になりました。早々に新型コロナウイルス対策本部を設置し、在宅勤務や体調不良時の特別休暇の導入など制度を整え、従業員や従業員の家族にワクチンの職域接種の機会も設けました。事務所の各デスクにはアクリル板を設置し、消毒液やマスクを常備するなど感染対策を徹底しています。また医療用の抗原検査キットを確保し、感染した従業員・家族に配布することで、濃厚接触者に該当した方に迅速に対応することができています。また、ビルメンテナンス会社として早々に協力会社と手を結び、困っているテナントさんの特別消毒なども積極的に請け負いました。社内で感染を拡大させない、業務に大きな支障を出さないことを目標に、感染対策に力を入れています。そして、ここ数年は中止になった実業団駅伝などにも、また参加できる日を期待して日々の健康作りに取り組みます。

従業員・従業員家族　希望者職域接種会場

テナント特別消毒作業実施

ホームページ 健康経営｜会社案内｜朝日建物管理株式会社（asahitatemonokanri.co.jp）

西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

所在地 大阪府茨木市西駅前町5番26号

従業員数 852人
（令和３年８月末現在）

事業内容 高速道路の維持管理

健康経営に取り組むようになったきっかけ

近年、働き方改革やパンデミック恐慌により働き方の多様性が求められています。当社は、高速道路の維持管理を行う会社であり、「高速道路の100%の安全・安心を提供する」ことは、当社の使命であり、責務です。健全に業務を遂行するためには社員の健康管理は必要不可欠であると考えています。

そういった中、社員の健康管理や増進を企業全体で取り組み、イキイキ職場実現のために様々な施策を実施しています。また、求職者においても、働き方の多様性が注目される重要なポイントとなっており、健康経営に取り組むことは必然となっています。取り組み内容を「健康経営優良法人」に申請し認定を受けることで対外的な企業アピールにも繋がると考えています。

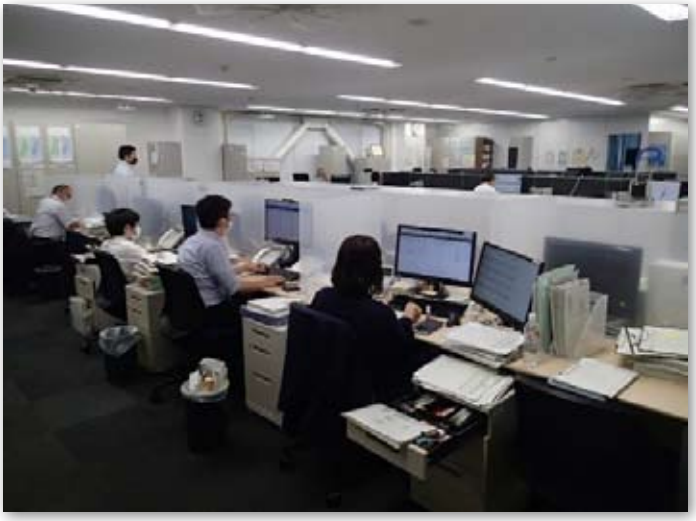
特に力を入れた取り組みとその効果

コロナウイルス感染症対策として、以下のとおり実施・対策を講じました。

①対策本部を設置（令和2年3月2日）し、感染（疑い含む）した場合の連絡体制および報告方法を周知。また、出勤扱いのルールや感染予防対策を全社員に通知。継続的に対策会議を開催し、対策内容を全社員に通知。②執務室および会議室に空気清浄機、加湿器、二酸化炭素濃度計の設置。③マスク、アルコール除菌シートを常備確保。社員に配布し予防の徹底。④1階エントランスに体温測定器設置。⑤各執務室入口にアルコール消毒液設置。⑥執務室内座席にアクリル板の設置。⑦時差出勤、テレワークを活用。⑧リモートによる会議・打合せの実施。⑨ワクチン接種日（および翌日）に特別休暇付与。

効果としては、上記対策を徹底することで、業務を停止させることなく確実に遂行しています。

入口に体温測定器、アルコール消毒液を設置


執務室にアクリル板を設置

畠山建設株式会社

所在地 広島市安芸区船越南3丁目9−3

事業内容 建設業（大工工事）

従業員数 12人
（令和５年６月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

全国土木建築国民健康保険組合　広島健康支援室担当者様よりお声掛け頂き、会社全体で健康経営に取り組むことになりました。

従業員の健康を第一に考えることにより、従業員が元気で生き生きと仕事に取り組め、結果的に会社の生産性向上につながると考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

令和５年２月から『野菜をしっかり摂れる置き社食サービス』「OFFICE DE YASAI（オフィスでやさい）」の利用を開始しました。社内で気軽に弁当・惣菜を購入できるため、従業員から大変好評です。野菜を使った商品が多くあり、今後も続けていくことで従業員の食生活改善につながっていくと考えています。

また、感染症対策として、①空気清浄機を設置（ヘルスアップチャレンジ助成金を利用）、②多くの従業員がインフルエンザ予防接種を受けられるよう自己負担分を全額会社負担とする（全国土木の補助制度を利用）体制づくりに努めています。

OFFICE DE YASAI（オフィスでやさい）

空気清浄機の設置（助成金利用）

株式会社愛亀

所在地 愛媛県松山市南江戸２丁目660番地１

従業員数 204人
（令和３年７月末現在）

事業内容 舗装工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は、以前は安全管理には力を入れておりましたが、健康管理については各個人任せにしていたこともあり、病気休職者や体調不良者がいても、「1人暮らしだから食生活が偏っているのだろう。」「ヘビースモーカーだしな。」「インフルエンザは、罹ったらしょうがないよね。」などと、他人事で済ますことが習慣となっておりました。

ところが、建設業界の人材確保と定着が困難になっていき、従業員1人に対する仕事量や責任、負担が大きくなり、「この人が倒れたら、その後大丈夫だろうか。」「この人の代わりはいないのだけど。」と不安とリスクで社内も重たい雰囲気となっておりました。

その様な中、健康経営という言葉を耳にしたときに、健康な体こそが、円滑な仕事や安全作業をもたらし、お客様の信頼に欠かせないこと、また、災害時等の緊急時にも十分な体制を整えられるのではないかとの思いから健康経営に積極的に取り組むこととなりました。

従業員の心も体も満足のいく会社づくりを通して、街のインフラを支える事業団として、地域のために家族のために誇りをもって、今後も仕事と健康管理に取り組んで行きたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社では、新型コロナの感染症予防対策には徹底して取り組んできておりました。そんな中、令和3年6月、「ワクチンの企業による職域接種」の報道発表があり、当社の代表が「うちの会社でやれないだろうか?」と社員に投げかけました。それが経験したことないとてつもなく大変であること、国や自治体の業務を代行するという重要な任務であるということは十分理解しておりましたが、会社の根本である従業員やその家族を大切に思う代表の理念を感じ、取り組むこととなりました。

もちろん、社内で新型コロナ陽性者が発生した場合に業務が停滞するリスクを回避したいという思いもありましたが、少しでも早く行動し、集団免疫により健康な社会を取り戻したいという願いがありました。

医師・看護師以外は、会場設営や医療補助スタッフ、接種済証の発行などはすべて当社グループの職員が手分けして担い、従業員や協力会社やその家族を対象に、1200人のワクチン接種を愛媛県では先行的に始めることができました。

「元の生活を取り戻すよりも、新しい世界をどう生きるか。」常に好奇心をもって次の時代に進み、「インフラの町医者」の使命を果たしたいと思います。

愛亀グループ事業本部　大ホールの接種会場

従業員が協力して、受付案内している様子

ホームページ https://ikee.jp/wp/wp-content/uploads/2021/08/202108ikee.pdf

株式会社ヒカリ

所在地 香川県丸亀市田村町1238

事業内容 建設業　フィットネスクラブ運営他

従業員数 102人

（令和３年６月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

3年前、健康経営優良法人認定制度を初めて知り、社員が心身ともに健康で元気に働ける会社を目指して、健康経営に取り組んできました。

以前から取り組んでいる、健康診断の全員実施、毎日のラジオ体操や感染症対策などに加え、こころの健康づくりや長時間労働への対応を行い、健康経営をさらに意識するようになっています。

生涯ありがとうの笑顔を数多く作りたい、様々な生活のシーンでお客様や地域の皆様のお役に立ちたい、との思いで、ファーストコールカンパニーを目指しています。社員が心身ともに健康で、活き活きと仕事ができるように今後も積極的に健康経営に取り組んでまいります。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社においては、自社で運営しているフィットネスクラブレフコを定期的に開放し、社員が自由に利用できるよう運動機会を提供し、運動不足の解消やリフレッシュを図っています。

感染症対策として、インフルエンザ予防接種費用の会社負担、マスク、アルコール消毒液等の配布を行い、徹底した対策を行っています。

また、コロナの影響で昨年から延期していますが、社内運動会や社内旅行などコミュニケーション促進を目的としたイベントを実施しています。

社員の働きやすい環境を整え会社全体の生産性向上に繋がればと期待しています。

社内旅行集合写真

フィットネスクラブレフコ利用時の写真

横田建設株式会社

所在地 香川県丸亀市城東町一丁目４番１号

従業員数 30人

（令和３年８月末現在）

事業内容 土木工事業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

近年、建設業においては従業員の高齢化が進んでいます。当社においても40歳以上の従業員の比率が年々増加し、従業員の健康管理の配慮、健康保持増進の重要性を認識。2017年、全国土木建築国民健康保険組合とコラボして「健康経営」に取り組むことを目的にヘルスアップチャレンジ宣言をしました。会社と従業員が一体となって健康づくりに取り組むことで全従業員の健康度アップ、モチベーションの向上さらには企業イメージアップにもつながり若年層にも魅力ある職場として受け入れられるようになるのではないかと思い、健康経営に積極的に取り組むこととなりました。

特に力を入れた取り組みとその効果

毎年、全国土木建築国民健康保険組合による保健指導を事業所にて従業員に実施しております。新型コロナウイルス感染症の影響下では、訪問での指導に替え、健診データの所見に応じた資料、生活指導などを添付した文書を郵送してもらい、各従業員に配付することで自己の健康課題の把握・認識・改善できる環境を整え維持しました。当社では健康診断後の再検査・精密検査の受診率は64%まで向上し、早期治療に繋がっております。今後は受診率100%を目指しております。

新型コロナウイルス感染症対策については、従業員の手指消毒などは定着・習慣化されていたためスムーズな対応ができました。ヘルスアップチャレンジの助成金を利用し除菌ブロッカーを購入し、従業員に配付。丸亀市withコロナ事業継続応援補助金を利用して、ウイルス除去機能付き空気清浄機、CO2濃度測定器、飛沫感染予防パーテーション等を購入し感染予防対策を強化しております。現時点では従業員一人一人が感染予防対策に心がけているため、陽性者の発生はありません。

色と数値で CO_2 濃度を見える化し換気

ウイルス除去機能付き空気清浄機を設置

ホームページ http://yokota-cc.com/

株式会社佐藤技建

所在地 福岡県北九州市小倉北区赤坂３丁目5-61

従業員数 26人

（令和３年７月末現在）

事業内容 総合建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は創業70周年を迎え、若手からベテランまで男女問わず活躍できる企業を目指し日々励んでおります。また、定年年齢の引上げや定年後の継続雇用制度の導入により、高年齢の社員も多数活躍しております。全社員が心身ともに元気に働ける企業となるためには、社員一人一人の健康に対する関心・意識の向上が不可欠となってきます。

そこで弊社では、会社全体で率先して健康経営に取り組み、社員の健康づくりの取り組みを推進する様になりました。会社全体で協力して健康保持・増進に取り組むことで、コミュニケーションの機会が増え、社内の一体感の構築にも役立てることができました。

今後も社員一人一人が心身ともに健康でいきいきと働ける企業となるため、健康経営に積極的に取り組んでまいります。

特に力を入れた取り組みとその効果

ヘルスアップチャレンジ助成金を一部活用して社内に血圧計、体組成計、体温計、血中酸素飽和濃度測定器を設置し定期的に使用することで、自らの健康状態をチェックし生活習慣の改善につながっています。定期健診(人間ドック)受診時間の勤務時間認定や費用の全額補助により、健診受診率100%を達成しています。(健康増進及び生活習慣病対策)

マスク、手洗い石けん、アルコール消毒液などの配布や、予防接種(新型コロナ、インフルエンザ)の勤務時間認定により接種率を上げ、感染防止に努めています。感染症予防についてのポスターを掲示し、メール等でも情報を発信することで、手洗いの習慣化、三密回避、換気、マスクの徹底など注意を払いながら業務を遂行しています。(感染症対策)

体組成計で健康状態をチェックしています

血中酸素飽和度を日々記録しています

ホームページ http://www.satogiken.com/ap/news?pn=1&cid=1&id=30

杉山建設株式会社

所在地 熊本市東区御領二丁目14番64号

従業員数 15人

（令和3年8月末現在）

事業内容 建設業

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設現場では、喫煙しながらコミュニケーションをはかるのが一般的と捉えている方が多いためか喫煙率が高い。そのためか高血圧や脳梗塞などの生活習慣病にかかる従業員が多かった。

また、健康への意識が低く、定期的な健康診断の受診も従業員全員は難しい環境だったため、まず、健康診断の受診率を100パーセントにすることから始めたいと考えた。

従業員の健康維持に向けての意識改革・健康増進（定期健康診断の受診）、生活習慣病対策（禁煙・糖分の過剰摂取の抑制）、感染症対策に取り組むようになった。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康増進を図るため、健康診断の受診率を100％にした。その健康診断結果に基づいてどけんぽの保健師・管理栄養士による保健指導も実施している。また、飲料に含まれる糖分の取り過ぎを防止するため、社内の自動販売機を撤去し、「水・お茶」などの糖分を含まない飲料を常備し、配布している。そのため、体重の大幅な増加は見られない。

禁煙対策のため屋内は禁煙とし、喫煙所を屋外に設置したところ、これまでは作業をしながら煙草を吸っていたが、作業を中断し喫煙をしなければならなくなったため、喫煙本数が減った人や禁煙に成功した人が数名みられている。

感染症対策のため、玄関、トイレなどにアルコールの設置、手洗いうがいを推奨するためのポスターを掲示した。昨年度及び今年度の感染症罹患者はいない。

社内冷蔵庫に常備している水・お茶

助成金を利用し購入した加湿空気清浄機

ホームページ https://ameblo.jp/sugiyama-corp/entry-12695433702.html

株式会社中野工務店

所在地 熊本県熊本市北区楠野町1409

事業内容 建築工事業（型枠工事）

従業員数 38人

（令和６年７月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

どけんぽ福岡健康支援室との年一回の担当者打合会において初めて健康経営の話を聞き、どんなものだろうと思いながらまずはヘルスアップチャレンジに宣言しました。

健康支援室から助言をいただきながら実際に健康に関する様々なことを計画・実践してみて、事業主としては労災事故の防止に繋がり、従業員には安心して働ける職場に繋がっていくのだと実感しました。

また、健康経営優良法人認定取得について求人票に載せています。いい人材を獲得できることを期待しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

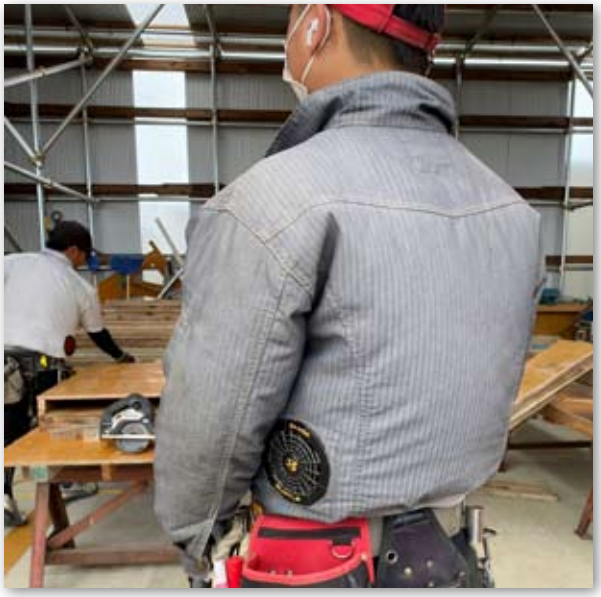
定期健康診断は毎年実施率100%です。令和5年度から40歳以上は人間ドックを受診することとしました。これは3月のどけんぽ主催の健康推進会議で他社の取組を聞いて当社でも取り入れたものです。

健診結果で要再検査・要精密検査対象者には100%受診勧奨し受診結果も報告させています。受診を渋る社員には上司や社長から勧めています。特定保健指導も会社として対象者全員が実施するよう勧めているほか、健診の事後指導としてどけんぽの保健師・管理栄養士の面談を実施しています。

感染症対策としてインフルエンザ予防接種を勧め、費用はどけんぽの補助額の差額を会社が負担しています。なお、家族分のどけんぽへの補助金申請のサポートも行っています。

また、現場に設置した自動販売機に健康的な飲料を勧めるポスターを掲示し、過剰に糖分を摂取しないよう取り組んでいます。

このような取り組みを継続することで従業員も健康の大切さを真剣に考えるようになりました。



熱中症対策として
会社支給の
空調服

自動販売機に
健康的な飲料を
勧めるポスター
掲示

ホームページ http://nakano.wakuwaku-rc.jp/info/

株式会社渡辺組

所在地 鹿児島県鹿児島市武二丁目４番１号

従業員数 155人

（令和４年７月末現在）

事業内容 総合建設業（建築一式工事、土木一式工事）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では、経営者が「経営の基本は健康である」という理念を掲げていることから、以前より従業員の健康増進に向けて様々な取り組みを積極的に行ってきました。その中の1つに「健康目標制度」というものがあります。これは毎年1月に1年間の健康づくり活動について、各人が目標を設定し、その後の達成状況を報告するものです。優良者には報奨金として金一封が贈られます。

その他、人間ドック・予防接種の費用補助、年2回のゴルフ・ボウリング大会及び懇親会にて従業員同士のコミュニケーションを図る等、健康経営の推進に取り組んでいます。従業員一人ひとりの士気が高まることで、会社のイメージアップにも繋がります。2017年には鹿児島県内で初めて健康経営優良法人に認定され、その後も継続して認定されています。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社では、定期健康診断の受診率100%を目指して取り組んでいます。人間ドックの費用を会社が半額負担することで、全従業員が受診しやすい環境を整えました。その結果、受診率100%を達成することができました。また、産業医による衛生講話を年1回実施しています。2020年は新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、日々の健康管理の大切さや体調に異常を感じた際の対応等についての講話を実施し、従業員の健康に対する意識の向上に繋がりました。

そのほか、当社では働き方改革実行委員会主導による毎週水曜日のノー残業デーの徹底や、5日以上の連続休暇の取得を義務付ける制度を設け、休暇取得を促進しています。こうした取り組みを続けることで、従業員一人一人が業務の効率化を図り、ワークライフバランスの実現を目指しています。

今後もこれまでに行ってきた取り組みを継続しながら、さらに全従業員の健康維持増進対策等にも取り組んでいきたいと思います。

ノー残業デーの社内掲示板

地域のボランティア活動

ホームページ https://k-watanabegumi.co.jp/helsup/